

防災研究所創立三十周年記念行事について

石 崎 潑 雄

THE 30TH ANNIVERSARY OF DISASTER PREVENTION RESEARCH INSTITUTE

By *Hatsuo* ISHIZAKI

京都大学防災研究所が昭和 26 年に設立されて、本年度は、ちょうど 30 年になる。その間に同研究所は大きく発展し、多くの成果を挙げ得たと信じているが、30 年というのは 1 世代に相当し、30 年を経たということは一時期を画するものと考えられる。この意味で創立三十周年を記念して、有意義な行事を行うべきことは当然であろう。有意義な行事としては何をなすべきか、研究所内で検討の結果、諸外国から災害科学研究の権威者を招くことになった。

記念行事として海外から権威者を招くということは、外国では、しばしば行なわれているようであるが、わが国の研究所では例が少ない。したがって、このような記念行事を計画しても、うまくいくかどうか、招待状を出しても、こちらの希望する人達が来てくれるかどうかはわからなかった。しかし、これが実行できれば、防災研究所の研究を刺激し、海外の研究に関する情報が得られ、諸外国との研究協力にも役立ち、また研究者以外の一般の人達を対象として防災問題の啓蒙にも裨益するところが大きいと考えられた。

このような考え方で、防災の種々の専門分野から、また、なるべく世界各地から多くの人達を招きたかったわけであるが、経費の関係上、下記の 5 名の研究者を招いた。招待するための経費は財団法人防災研究協会の助力を仰いだ。

地震関係	Carl Kisslinger 氏 (米国, コロラド大学教授)
台風関係	Robert H. Simpson 氏 (米国, ジョージア大学教授)
水害関係	Herman Breusers 氏 (オランダ国, デルフト水理実験所研究企画官)
山地災害関係	丁 錫祉氏 (中国科学院成都地理研究所所長, 教授)
地盤災害関係	劉 頌氏 (中国科学院工程力学研究所教授)

なお、東南アジアからも専門家 1 名を招きたいと考え、招待状を発送したが、招待者の種々の都合で来日してもらえなかった。

上記の 5 氏にお願いして、昭和 57 年 2 月 4 日、防災研究所内で、専門別にセミナーを開催した。各セミナーでは、専門的な講演と、それに引き続く討議が行われた。一般の人達を対象とした講演会は、朝日新聞社の後援で、“地震と風水害”講演会と名づけて、2 日間にわたり下記のように行なわれた。

2 月 5 日 (金) 午後 1 時より 4 時 30 分まで、場所……大阪 SAB ホール

アメリカにおける地震予知の研究	カール・キスリンガー
台風警報とその備え	ロバート・H・シンプソン
オランダにおける水害の研究	ヘルマン・ブロイザース

2 月 6 日 (土) 午後 1 時より 4 時まで、場所……京大会館

中国の気候地形学と山地災害	丁 錫祉
中国における地盤災害	劉 頌

大阪 SAB ホールの講演会には 300 名近い聴衆が集まり、京大会館でも約 100 名の参加者があって、盛会

であった。各講演内容その他、詳しくは後の報告に述べられているので省略する。

なお防災研究所の、三十周年記念に対し、オランダのデルフト水理実験所長 J.E. Prins 氏から祝電を頂戴した。ここに記して感謝の意を表したい。